

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

平成28年 1月15日

協議会名: 内灘町地域公共交通協議会

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
日本海観光バス(株)	系統名:南部ルート 運行区間:内灘町役場～内灘 駅～内灘町役場(町内循環)	運行計画の見直しを検討中	A 計画通り事業は適切に実施 された。	A 収支率が目標30%に対して 32.7%であり、地域住民の 日常生活に必要な地域内 交通手段を確保・維持する うえで必要な事業といえる。	地域住民からのルートやダイヤ に対する意見・要望は多く、特 に北陸鉄道浅野川線との連絡 が今後の検討課題といえる。
日本海観光バス(株)	系統名:全町ルート(1～7便) 運行区間:内灘町役場～内灘 駅～内灘町役場～西荒屋公民 館～内灘町役場(町内循環)	運行計画の見直しを検討中	A 計画通り事業は適切に実施 された。	A 収支率が目標30%に対して 32.7%であり、地域住民の 日常生活に必要な地域内 交通手段を確保・維持する うえで必要な事業といえる。	地域住民からのルートやダイヤ に対する意見・要望は多く、特 に北陸鉄道浅野川線との連絡 が今後の検討課題といえる。
日本海観光バス(株)	系統名:全町ルート(8便) 運行区間:内灘町役場～内灘 駅～内灘町役場(町内循環)	運行計画の見直しを検討中	A 計画通り事業は適切に実施 された。	A 収支率が目標30%に対して 32.7%であり、地域住民の 日常生活に必要な地域内 交通手段を確保・維持する うえで必要な事業といえる。	地域住民からのルートやダイヤ に対する意見・要望は多く、特 に北陸鉄道浅野川線との連絡 が今後の検討課題といえる。

事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について

平成28年 1月15日

協議会名:	内灘町地域公共交通協議会
評価対象事業名:	地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	<p>内灘町は石川県中央部の日本海沿いに位置し、面積は20.33km²、人口は26,928人(H27.9月末現在)である。</p> <p>地域住民の日常生活において重要な役割を担っている医科大学病院や大型スーパー等の施設が、町内に点在している状況であり、また、一部地域においては民間路線バスの運行ルートから乖離している、いわば交通空白地域の状況にある。</p> <p>こうした中で、「誰もが安心して快適に暮らせるまちづくりを進めるためには、地域公共交通システムの構築(バス交通体系の充実)が必要不可欠である。その一環として、高齢者等の交通弱者を中心に日常生活に必要な不可欠な交通手段の確保を主たる目的とし、地域間幹線系統と接続し、かつ、交通空白地域を補完するフィーダー系統循環路線バスを運行することで、生活交通ネットワークの構築を進めているところである。</p>